



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	文の性性：「ボク」「おれ」と呼ぶ少女たちの言葉
Author(s)	宮澤, 俊雅
Citation	北海道大学文学研究科紀要, 114, 1-39
Issue Date	2004-11-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/34077
Type	departmental bulletin paper
File Information	114_PL1-39.pdf



文の性性 —「ボク」「おれ」と呼ぶ少女たちの言葉—

宮 澤 俊 雅

1 はじめに

日本語の発話文には、用言文と体言文とがある。文末の文節が用言をもつ語からなるものが用言文、体言のある語形で構成されるものが体言文。用言又は体言 1 語のみからなる文で示せば次の通り。

用言文	帰る！	ひどい！
体言文	雨！	いや！

もちろん発話文では、文節末に終助詞を添えて表現を豊かにすることが多い。

用言文	帰る！	帰るよ。	帰るね。	帰るよね。
用言文	ひどい。	ひどいよ。	ひどいね。	ひどいよね。
体言文	雨！	雨よ。	雨ね。	雨よね。
体言文	いや！	いやよ。	いやね。	いやよね。

体言文と用言文の相違は、文法の範疇に属するから、日本語を母語とする者には生得的に区別でき、往々にして位相差・機能差として働く。しかし、その差を保持するためにすべての発話文の文末を体言または用言の一方だけで表現することは困難。そこで実際には文末の体言に用言化語尾（助動詞）を付けて用言文にし、または文末の用言に体言化語尾（形式名詞）を付けて体言文にする。この用言文と体言文の変換は誰でも自由に操れる。

体言文	用言文	体言文	用言文
雨！	⇔ 雨だ。	⇔ 雨なの。	⇔ 雨なんだ。

いや！	⇔ いやだ。	⇔ いやなの。	⇔ いやなんだ。
	ひどい！	⇔ ひどいの。	⇔ ひどいんだ。
	帰る。	⇔ 帰るの。	⇔ 帰るんだ。

そこで、くどくなるが、これに終助詞「よ」「ね」をつけて一覧する。

用言文	帰る。	帰るよ。	帰るね。	帰るよね。
用言文	帰るんだ。	帰るんだよ。	帰るんだね。	帰るんだよね。
用言文	ひどい。	ひどいよ。	ひどいね。	ひどいよね。
用言文	ひどいんだ。	ひどいんだよ。	ひどいんだね。	ひどいんだよね。
用言文	雨だ。	雨だよ。	雨だね。	雨だよね。
用言文	雨なんだ。	雨なんだよ。	雨なんだね。	雨なんだよね。
用言文	いやだ。	いやだよ。	いやだね。	いやだよね。
用言文	いやなんだ。	いやなんだよ。	いやなんだね。	いやなんだよね。
体言文	帰るの。	帰るのよ。	帰るのね。	帰るのよね。
体言文	ひどいの。	ひどいのよ。	ひどいのね。	ひどいのよね。
体言文	雨！	雨よ。	雨ね。	雨よね。
体言文	雨なの。	雨なのよ。	雨なのね。	雨なのよね。
体言文	いや！	いやよ。	いやね。	いやよね。
体言文	いやなの。	いやなのよ。	いやなのね。	いやなのよね。

さて、日本語の歴史は、用言文と体言文が併存する時、「用言文が古い表現方式、体言文が新しい表現形態。」を示唆する。

推測の域を出ないが、古く動詞の名詞形による体言文から連用形終止法が成立し（後世の中止法とラ変語尾にその痕跡を見る。）、動詞語根に -u が付いた形が新しい準体形として、やがて体言文を構成し、そこから終止形終止法が成立する。

遅くとも西暦 700 年頃からは終止形による用言文の時代。そして新しい準体形として連体形が使われるようになり、1100 年頃には終止形用言文と並んで連体形体言文が成立する。1300 年頃には口頭語から用言文が消滅し、1500 年頃には連体形体言文が連体形終止法になり、現在の用言文が成立する。そして 1700 年頃に準体形としての連体形の語尾が長呼し撥音を伴い、1900 年頃には体言文が用言文と併存するようになった。

両文は並存するにしてもそこに何らかの位相差が出るのは当然。古新の差は、一般には長幼の差、老若の差になるのが普通。順調に行っていれば、今頃（2000年頃）は〈用言文は文章語。発話は体言文。〉が大勢となって、2100年頃の〈口頭語からの用言文の消滅〉に向かう様相を示していたかもしれない。しかし、おそらく、近代化の過程で、体言文が先に若い人、それも女性の発話の中に広まったことから、そして若い女性は男どもと対等に話せる恋人同士、友人同士の時にことさらに体言文を使ったことから、男どもは体言文を女性がふだん使う言葉であると誤認し、対して古い用言文が男の使うべき文であると見なされた。こんな形で文に性性があると思われ始めたのか？

体言文に女性性を、用言文に男性性を見たが、例外も生じた。はじめ、女性の体言文には終助詞の「さ」を伴うことが多かった。「さ」はもちろん用言文にも使われた。「帰るさ」「ひどいさ」の他に、女性の「帰るのさ」「ひどいのさ」「いや（なの）さ」「雨（なの）さ」という表現を、やがて男性も言うようになり、女性はさらに、「帰るの」「ひどいの」「いやなの」「雨なの」という表現を確立した頃に、文の性性が認識され始めたらしい。すでに男性が使い始めている体言文は、男性が使っている以上男性のものであり、女性が使うべきではないとされていった。「帰る（の）か（え）」「ひどい（の）か（え）」「いや（なの）か（え）」「雨（なの）か（え）」も男女両用から男性専用になってゆき、「か」「さ」は男性性の指標となった。

一方女性専用の用言文として認識されたものに「帰るわ」「ひどいわ」「いやだわ」「雨だわ」という表現がある。これはおそらく、今でも使われる「帰るがいい」という動作主体又は聞き手を見放すきつい表現と対比される「帰るは（いい）か（え）」という聞き手に許諾を求めるおだやかな言い方から出たものと思われ、男女とも使用していた。終助詞は「な」が普通。そして「ね」もついた。また「わ」は前音と連続・融合し「あ」音、「や」音となることもあった。

帰るわ。 帰るわな。 帰るわね。 帰らあ。 帰らあな。 帰らあね。
ひどいわ。 ひどいわな。 ひどいわね。 ひどいや。 ひどいやな。 ひどいやね。
いやだわ。 いやだわな。 いやだわね。 やだあ。 いやだあな。 いやだあね。

雨だわ。 雨だわな。 雨だわね。 雨だあ。 雨だあな。 雨だあね。

これらは、他の表現に性性が認識されてゆくにつれ、同じ形態であっても異なる表現として使われるようになり、ついには女性の「わ」と男性の「わ」とは別語であると認識されるようになった。すなわち、女性の「帰るわ」「帰るわよ」「帰るわよね」は、男性の「帰る」「帰るよ」「帰るよね」に対するもので、「わ」の意義はゼロ。〈発話者が女性。〉を示す機能しかないと認識される。一方、男性の「帰るわ」「帰るわな」は、男性の「帰るよ」「帰るよね」とほぼ同義。女性の「帰るわよ」「帰るわよね」に相当する。女性の「わ」が意義ゼロであるのとは違って、男性の「わ」は「よ」類似の意義を持っている。

f		m	
帰るわ。	⇔	帰る。	
帰るわよ。	⇔	帰るよ。	帰るわ。
帰るわね。	⇔	帰るね。	
帰るわよね	⇔	帰るよね。	帰るわな。
m		f	m
帰る。	⇔	帰るわ。	⇔ 帰るわよ。
帰るよ。	⇔	帰るわよ。	
帰るね。	⇔	帰るわね・帰るわな。	⇔ 帰るわよね。
帰るよね。	⇔	帰るわよね。	

こうして、男女両用であるにもかかわらず、「わ」は女性性の終助詞として認識されて行く。

〈終助詞「か」「さ」が男性性、終助詞「わ」が女性性。〉の認識は、文末終助詞が性性を決定するという認識を導き出す。「ぜ」「ぞ」「な」など、〈用言文にしか付かない終助詞が、男性性の終助詞。〉と認識されて行く。体言文の文末に来る形式名詞「の」が女性性の終助詞と称され、〈助動詞「だ」が、男性性の終助詞(に相当するもの)。〉と認識されて行く。男女両用の終助詞「よ」「ね」すらも、

f		m		f
(帰る！)	—	(帰る)	・帰るぞ。	⇔ 帰るわ。

(ひどい!) - (ひどい) ・ひどいぞ。⇔ ひどいわ。
いやよ・いやね。 ⇔ いやだ ・いやだぞ。⇔ いやだわ。
雨よ・雨ね。 ⇔ 雨だ ・雨だぞ。 ⇔ 雨だわ。

の対比のみが注目されて、女性性の指標としての機能が強調される。

文の性性の認識は、〈男性の文は、きつい乱暴な表現、女性の文はおだやかな、丁寧な表現〉となる。一方、丁寧な表現としては、男女共に用いるものとして、「ですます態」がある。丁寧な表現ゆえに、女性にふさわしいものと認識される。

このような認識はあくまで観念上のことがら、必ずしも実際のすべての発話文に発話者の性別に対応した性性が現れる訳ではない。文の性性が意識されると、女性はまず相手が対等の男性である時には「女性語」を使うようになる。男性は相手が対等の女性であるときは常に「女性語」を聞くようになり、女性は普段「女性語」を使うものだとの観念を持つようになる。そのような男の観念に応じて、目上の男性相手の時にも（父親にでも）「女性語」を使い、さらに目下の男性相手の時にも（息子にでも）「女性語」を使い、さらに女性相手の時にも「女性語」を使う女性が現れる。そのそれぞれは本来時間差によるもの、しかし多くはキャラクタの違いと見なされる。現実の発話は観念ほどには截然としないが、フィクションでは、しばしば作者自身の持つ文の性性の観念が利用される。特に登場人物に《自然性》とは異なる役割・性格を与えようとする場合には作者の持つ観念は顕著に現れる。

前置きが長くなったが、以上に述べ来った事柄は、必ずしも総てに渡って検証し終えたわけではなく、多分に推測の交じっているところもある。これらのことを前提に持論を展開しようとなさる御仁は、先にその前提を自身で検証されることが望ましい。また、これらのことを無視して持論を展開しようとなさる御仁は、先にこれらのことが成立しないことを自身で検証されることが望ましい。本稿の目的はあくまでも「フィクションの発話では文の性性の観念がどのようになっているか」を見ることにある。

なお、本稿では「体言文」を理解してもらうため、努めて体言文を交えて論述する。すなわち文末に、ピリオド「。」を付したのが体言文、句点「。」

を付したのが用言文。そのため、読みにくいと感じる方は次のような読み替えをするのも効果的。ただし小数点付き数値を「5 なのですよ 7 は一せん」となどと読まないように――

ピリオド	句点
(体言文。)である。	(用言文。)のである。
(体言文。)だよ。	(用言文。)のだよ。
(体言文。)だぜ。	(用言文。)ぜ。
(体言文。)なんだぞ。	(用言文。)んだぞ。
(体言文。)よ。	(用言文。)のよ。
(体言文。)だわ。	(用言文。)わ。
(体言文。)です。	(用言文。)のです。
(体言文。)なのですよ。	(用言文。)のですわよ。

本稿では、資料として、いわゆる「少女コミック」を使い、特に《自然性》に対応する発話を拒否する以下のキャラクタに注目して文の性性の観念を瞥見する。

サファイヤ	F		男装	1953～56	リボンの騎士(手塚治虫)	
オスカル	F		男装	1972～	ベルサイユのばら(池田理代子)	
ボクちゃん	F	高2	ボク	女生徒	1974～	つらいぜボクちゃん(高橋亮子)
吉野美加	F	高1	おれ	女生徒	1985～86	脱走行進曲・等(沖倉利津子)
クンちゃん	F	小1	おれ	女兒	1982～83	いろはにこんべいと(くらもちふさこ)
小早川那智	F	高1	俺	女生徒	1991	ガラス色の BOY(あいざわ遥)
松下楓	F	中2	オレ	女生徒	1991～93	無敵のヴィーナス(椎名あゆみ)
園丘花子	F	中1	わたし	女生徒	1976～77	ミスターレディ(里中満智子)
園丘太郎	M	中1	ぼく	男生徒	〃	〃
デボラ	M	大2	あたし	女装風	1987～88	デボラがライバル(多田かおる)
菊川涼音	M	大2	あたし	女装	1983～86	前略ミルクハウス(川原由美子)

用例の採録は、「ふきだし」の中に限ることとし、挨拶、依頼・命令・禁止・謝絶、言いさし(連用文)、～から(だ)、～(だろ)うが、～じゃん等は採録しない。採録文は次の5類に分類する。

- 1 ですます態 体言文・用言文の違いに関わりなく、「です」「ます」を使う文をすべてこれに分類する。「～(っ)す」も含める。
- 2 かき態体言文 1以外の体言文のうち終助詞「か・(かい)・(かしら)」「さ」を使う

もの。

- 3 体言文 1・2 以外の体言文。
- 4 わ態用言文 1 以外の用言文のうち終助詞「わ」を使うもの。（「だもの」「だこと」は仮にここに入れる。他の用言＋「もの」「こと」は体言文。）
- 5 用言文 1・4 以外の用言文。

なお、用例集計は 1 と 5 を入れ替えて、用言文、かき態体言文、体言文、わ態用言文、ですます態、の順に掲げる。

2 サファイヤ

『リボンの騎士』¹ は架空世界の話で、人は出生以前に神（天使長）から「女の子の心」と「男の子の心」のどちらかを与えられて性別が決まるという設定になっている。サファイヤは、ある国の王女として生まれるが、天使のいたずらから「女の子の心」と「男の子の心」の両方を持って生まれる。しかも出生時の手違いで王子誕生と布告され、表向きは王子として（サファイヤ M）、秘かに王女として（サファイヤ F）生活し、時に「あま色のかみの乙女（サファイヤ乙女）」や「リボンの騎士（サファイヤ騎士）」に扮する。また、一時「女の子の心」を失い、完全な「男の子」として王位につく（サファイヤ MM）が、天使が心を「女の子」に入れ替えると、完全な「女の子」になり、しばらく男（王）として振る舞い（サファイヤ FM）、最後は名実共に女王となる（サファイヤ FF）。

このように、両性に扮するだけでなく、自然性も変わり、それに応じて言葉づかいも変化する。

サファイヤの女性としての発話の方から先に纏める。まずサファイヤ F ―「女の子の心」と「男の子の心」の両方を持ち、深窓に暮し、或いは塔牢に幽閉され、のち女王位に付く少女― の発話は、

¹ 手塚治虫『リボンの騎士 少女クラブ版』（講談社漫画文庫）、1999 年 11 月。初出「少女クラブ」1953 年 1 月～1956 年 1 月

用言文	7 例	8.5%	例	どうしよう？
かき態体言文	1 例	1.2%	例	見つかったのかしら。
体言文	28 例	34.1%	例	おひっこしね。
わ態用言文	27 例	32.9%	例	助かったようだわ。
ですます態	19 例	23.2%	例	きたんでしょ。
計	82 例			

用言文等（用言文＋かき態体言文）は約 10%。ただし、かき態体言文は、よく「女性専用語」と言われ、実際には男女両用の「かしら」1 例のみ。用言文は「どうしよう」「塔の外へ出ちゃった」「おお、つめたい」「王子さまをきずつけるなんてとてもできない」など独白に近い。「奥で休むがよい」は女王としての発話。**体言文等**（体言文＋わ態用言文）は約 67%。用言文等と体言文等の比率は 13：87。

次に、サファイヤ乙女——「女の子の心」と「男の子の心」の両方を持ち、普段は王子として過ごしているが、身分を隠して普通の「あま色の髪の乙女」に扮している少女——の発話は

用言文	2 例	5.7%	例	よかった。
かき態体言文	2 例	5.7%	例	つかまえてくれないかなあ。
体言文	3 例	8.6%	例	きれい。
わ態用言文	9 例	25.7%	例	水のあわだわ。
ですます態	19 例	54.3%	例	つかまえられましたのよ。
計	35 例			

用言文等は約 11%。用言文「よかった」「いまだっ」は対話とは言えない。かき態体言文は「かしら」が 1 例。「つかまえてくれないかなあ」はわざと聞かせるための独白。体言文等は約 34%。用言文等と体言文等の比率は 25：75。「乙女」は「隣国の王子（フランツ）」と「ですます態」で対話するキャラクターとして設定されているので、体言文等の比率はサファイヤ F に比べるとそれほど高くない。

本資料では独白もふきだしの形で表される。サファイヤ独白——「女の子の心」と「男の子の心」の両方を持ち、普段は王子として過ごしている少女の独白——は

文の性性 —「ボク」「おれ」と呼ぶ少女たちの言葉—

用言文	7 例	21.9%	例	町へ行こう。
かき態体言文	2 例	6.3%	例	そうだったのか。
体言文	5 例	15.6%	例	へんね。
わ態用言文	14 例	43.8%	例	行きたいわ。
ですます態	4 例	12.5%	例	わからなかったでしょうね。
計	32 例			

用言文等は約 28%。「かき態体言文」のもう 1 例は「無事かしら」。用言文は他に「しっかりしよう」「チンクちゃんに会おう」「話を聞こう」「あら、先をどこかへおとしちゃった」「なんとかしてここを逃げ出したい」「みんなにどうやってうちあけたらいいかしら」。最後の「かしら態」を別にすれば、対話には使われない態の文。体言文等は約 59%。「ですます態」のうち「あなたもつらかったでしょうね」は相手を思い浮かべての独白。「わからなかったでしょうね」「使いましょう」「なりますよ」を「まさかあの少女がこの国の王子とはわからなかっただろうな」「これを使おう」「しばらくお世話になるよ」と独白態にしなかった所や「わ態用言文」の多用に作者の観念が現れている。それでも「ですます態」は少なく、用言文等と体言文等の比率も 32:68 で、サファイヤ F に比べると体言文等の比率は低い。

サファイヤ FF —「女の子の心」だけを持ち、女性としてのみ振る舞う少女— は、

用言文	5 例	16.1%	例	していよう。
かき態体言文	2 例	6.5%	例	チンクちゃんかしら。
体言文	6 例	19.4%	例	さがしたのよ。
わ態用言文	7 例	22.6%	例	まちがえたんだわ。
ですます態	11 例	35.5%	例	死んでしまいます。
計	31 例			

用言文等は約 23%。「かき態体言文」は「かしら態」のみ。用言文も 1 例は「かしら態」。他に「いけないっ」「やっと会えた」「女のことばになってる」「しばらく男のふりしていよう」。体言文等は約 42%。用言文等と体言文等の比率も 35:65 で、体言文等の比率は低い。

サファイヤの女性としての発話をすべて合わせると

用言文	21 例	11.7%
かさ態体言文	7 例	3.9%
体言文	42 例	23.3%
わ態用言文	57 例	31.7%
ですます態	53 例	29.4%
計	180 例	

用言文等は約 16%、体言文等は約 55%、用言文等と体言文等の比率も 22 : 78.

サファイヤの女性としての発話と他の少女の発話の違いを先に見て行くが、本資料では他に恒常的に登場する少女は悪魔の子ヘケートだけである。悪魔の子の性別がどのように決まるかの設定は見られないが、ヘケートは死の場面でもともと「男の子の心」しか持っていなかったことが判明する。しかし作者はその点はあまり気にしていないらしく、ヘケートは専ら少女として記述される。

ヘケート O ——「男の子の心」だけを持つ少女——は

用言文	5 例	27.8%	例	知ってるだろう。
かさ態体言文	0 例	0.0%	例	
体言文	5 例	27.8%	例	あたりまえよ。
わ態用言文	8 例	44.4%	例	お城だわね。
ですます態	0 例	0.0%	例	
計	18 例			

用言文 28%と、確かに多めになっているが、サファイヤ独白と同程度。体言文等は約 72%。用言文等と体言文等の比率も 28 : 72。ですます態とは無縁。

ヘケート (サファイヤ F) ——「男の子の心」だけを持ち、サファイヤ F に扮する少女——は例数が少ないので比較にならない。

用言文	0 例	.%	例	
かさ態体言文	0 例	.%	例	
体言文	3 例	.%	例	きてほしいのよ。
わ態用言文	0 例	.%	例	
ですます態	1 例	.%	例	できました。

計 4 例

ヘケート F — 「女の子の心」と「男の子の心」の両方を持つ少女 — は、

用言文	1 例	9.1%	例	あつ、人間がとおる。
かき態体言文	1 例	9.1%	例	りっぱなのかしら。
体言文	3 例	27.3%	例	へんな気持ち。
わ態用言文	4 例	36.4%	例	はじめてだわ。
ですます態	2 例	18.2%	例	はなれませんわよ。

計 11 例

対話となっているのは「おとうさんがあなたから女の心をとったのよ」「ぞんじております」の 2 例だけで、他の 9 例は独白。用言文等は約 18%，体言文等は約 64%。用言文等と体言文等の比率も 22：78 で、ともにサファイヤの平均に近い。

ヘケート乙女 — 「女の子の心」と「男の子の心」の両方を持ち、「あま色の髪 of 乙女」に扮する少女 — は、

用言文	2 例	15.4%	例	できない。
かき態体言文	0 例	0.0%	例	
体言文	2 例	15.4%	例	ほんと。
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	9 例	69.2%	例	お待ちしております。

計 13 例

用言文等は約 15%。体言文等は約 15%。用言文等と体言文等の比率は 50：50。ただし「ちがいます」「私は悪魔の子ですわ」「魔力ででも王子さまをおひきとめしますわ」「できない」「私にはできない」「もう二度とお会いいたしません」の 6 例は偽装が破綻した後の発話。これを除けば例数が少ないので比較不可（用言文は 0%。用言文等と体言文等の比率は 0：100）。

ヘケートをすべて合わせると

用言文	8 例	17.4%
かき態体言文	1 例	2.2%
体言文	13 例	28.3%
わ態用言文	12 例	26.1%
ですます態	12 例	26.1%

計 46 例

用言文等は約 20%、体言文等は約 54%、用言文等と体言文等の比率は 26 : 74.

次に男装又は男性としてのサファイヤの発話を見る。まずサファイヤM —「女の子の心」と「男の子の心」の両方を持ち、王子の役をこなしている少女— は

用言文	48 例	73.8%	例	見まちがえたんだろ。
かさ態体言文	6 例	9.2%	例	靴屋かい。
体言文	1 例	1.5%	例	だれ？
わ態用言文	1 例	1.5%	例	少女だもの
ですます態	9 例	13.8%	例	忘れちゃだめです。
計	65 例			

用言文等は約 83%、体言文等は約 3%、用言文等と体言文等の比率は 96 : 04.

サファイヤ騎士 —「女の子の心」と「男の子の心」の両方を持ち、「りぼんの騎士」に扮する少女— は、例数が少ないが、

用言文	11 例	91.7%	例	相手になるぞ。
かさ態体言文	0 例	0.0%	例	
体言文	1 例	8.3%	例	私はリボンの騎士。
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	0 例	0.0%	例	
計	12 例			

用言文等は約 92%、体言文等は約 8%、用言文等と体言文等の比率は 92 : 8. つねに戦う役柄なので、「ですます態」は無い。

サファイヤMM —「男の子の心」しか持たず、少女ではないサファイヤ— は

用言文	15 例	78.9%	例	じゃまだ。
かさ態体言文	0 例	0.0%	例	
体言文	0 例	0.0%	例	
わ態用言文	0 例	0.0%	例	

ですます態	4 例	21.1%	例	ありませんよ。
計	19 例			

用言文等は約 79%. 体言文等は 0 %. 用言文等と体言文等の比率は 100 : 0. 国王という立場上, 「ですます態」は使うが, 観念上, 最も「男性的」な発話を与えられている。

サファイヤ FM — 「女の子の心」しか持たず, 立場上, 男の振りをし続ける少女 — は

用言文	17 例	65.4%	例	助けてやる。
かき態体言文	0 例	0.0%	例	
体言文	2 例	7.7%	例	あなたなの？
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	7 例	26.9%	例	なんですか。
計	26 例			

用言文等は約 65%. 体言文等は約 8 %. 用言文等と体言文等の比率は 89 : 11. 体言文の 1 例は「城がのっとられたという!」. もう 1 例の「あなたなの？」は, サファイヤ FF (フランツに) 「あつ, おかあさまよ」— FF (母太后に) 「やっとやっと会えた」— FF (母太后に) 「サファイヤはさがしたのよ」— FM (人魚に) 「あなたなの? おかあさまをかくしたのは…」— FM (人魚に) 「ありがとう, この恩は忘れないよ」と続くもので, サファイヤ FF ともとれる。ただしこの付近ではサファイヤは男装であり, <フランツや母太后たち以外との対話は FM.> と見られる。

男装又は男性としてのサファイヤをすべて合わせると

用言文	91 例	74.6%
かき態体言文	6 例	4.9%
体言文	4 例	3.3%
わ態用言文	1 例	0.8%
ですます態	20 例	16.4%
計	122 例	

用言文等は約 80%. 体言文等は約 4 %. 用言文等と体言文等の比率は 95 : 05.

最後に男2人のうち、まずチンク——天使であるが、下界では男児——は、

用言文	118 例	55.4%	例	生まれ変わっちゃったんだな。
かき態体言文	6 例	3.0%	例	ばけていたのかっ。
体言文	9 例	4.5%	例	だまってるの？
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	67 例	23.5%	例	お会いできましたね。
計	200 例			

用言文等は約62%、体言文等は約5%、用言文等と体言文等の比率は92：08、児童に扮しており、目上と対話する場が多いため、「ですます態」を多用する礼儀正しい子供。

隣国（シルバーランド）の王子（フランツ）は

用言文	214 例	76.7%	例	きみだったのだろう。
かき態体言文	23 例	8.2%	例	まちがっていたのか。
体言文	5 例	1.8%	例	わかるの？
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	37 例	13.3%	例	うれしそうですね。
計	279 例			

用言文等は約85%、体言文等は約2%、用言文等と体言文等の比率は98：02。
以上の数値を一覧すれば次の通り。

	用言文等	体言文等	(用)：(体)
サファイヤF	10%	67%	13：87
サファイヤ乙女	11%	34%	25：75
ヘケート乙女	15%	15%	50：50
サファイヤ女性	16%	55%	22：78
ヘケートF	18%	64%	22：78
ヘケート全	20%	54%	26：74
サファイヤFF	23%	42%	35：65
サファイヤ独白	28%	59%	32：68
ヘケートO	28%	72%	28：72
サファイヤFM	65%	8%	89：11

サファイヤ騎士	92%	8%	92 : 8
チンク	58%	5%	92 : 8
サファイヤ男装	80%	4%	95 : 5
サファイヤM	83%	3%	96 : 4
フ란ツ	85%	2%	98 : 2
サファイヤMM	79%	0%	100 : 0

文の性性の観念は「男」の発話の方が顕著。体言文等が殆ど用いられない。この傾向は「ですます態」を排除しても有効。「ですます態」は男性の発話では丁寧態。観念上、男性は普通態では体言文等を使わない。男の発話の性性は、(体言文等) / (用言文等 + 体言文等) の数値の低さで表され、その観念はサファイヤMMとフ란ツに露骨に現れている。

女性の方は用言文等の使用が少なめ。体言文等か「ですます態」の使用が多い。「ですます態」は女性の発話では丁寧態でもあるが、普通態の非一体言文等としても使われる。「ですます態」を排除すると、観念が明瞭でなくなる。観念上、女性は普通態の用言文等を余り使わず、普通態の体言文等か丁寧態を多用する。女性の発話の性性は、(用言文等) / (用言文等 + 体言文等 + ですます態) の数値の低さに現れ、観念はサファイヤFとサファイヤ乙女に最も顕著。

3 オスカル — こんなにも やすらかだ… 自己の 真実に したがいいきた 愛し… 憎み… 泣き…

『ベルサイユのばら』² のオスカルは、ほとんど男装の女性として行動する。かのシャルル・ジュヌヴィエーヴ・ルイ・オーギュスト・アンドレ・ティモテ・ド・ボーモン (1728-1810) が女装の騎士として認められていたように、オスカル・フランソワ・ド・ジャルジェ (1755-1789) は男装の女性武将として世間から認知されていた、という設定。

² 池田理代子『ベルサイユのばら』1～5 (集英社文庫) 1994年12月 (1976年3月集英社による)。初出1972年

本資料では、発話のすべてが、ふきだしによって囲われているわけではない。ふきだしの形も雲形とは限らず、黒色をバックにしたふきだし型の余白に文表現がある、など多彩。ここでは確実に、ふきだしと認定できる形で表現されたものだけを採録した。

オスカル

用言文	611 例	76.2%	例	放火らしいぞ。
かさ態体言文	62 例	7.7%	例	美しい人か。
体言文	8 例	1.0%	例	ベルサイユ。
わ態用言文	1 例	0.1%	例	こちらもかたはらいたいわ。
ですます態	120 例	15.0%	例	ご忠告をもうしあげます。
計	802 例			

アンドレ

用言文	176 例	86.3%	例	おそすぎなければよいな。
かさ態体言文	22 例	10.8%	例	こういうぐあいなのさ。
体言文	0 例	0.0%	例	
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	6 例	5.3%	例	けってはなりません。
計	204 例			

フェルゼン

用言文	102 例	60.4%	例	かえ馬がまっているぞ。
かさ態体言文	13 例	7.7%	例	さびしくはないのか？
体言文	1 例	0.0%	例	だいじょうぶ。
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	53 例	31.3%	例	アメリカへたちます。
計	169 例			

アラン

用言文	67 例	80.0%	例	後悔するぞ。
かさ態体言文	11 例	13.1%	例	おれたちはげすさ。
体言文	0 例	0.0%	例	
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	6 例	7.1%	例	納得できません。
計	84 例			

ルイ (16 世)

用言文	51 例	81.0%	例	わたしはゆるそう。
かさ態体言文	4 例	6.3%	例	どうかしたのかね。
体言文	0 例	0.0%	例	
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	8 例	12.7%	例	ご苦労でした。
計	63 例			

マリー・アントワネット

用言文	17 例	0.9%	例	なにもかもをうばった。
かさ態体言文	3 例	5.1%	例	どうしたらいいのかしら。
体言文	59 例	17.6%	例	なにもいらないのよ。
わ態用言文	24 例	7.2%	例	ダイヤも買わないわ。
ですます態	232 例	69.3%	例	これがフランス王妃の死にかたです。
計	335 例			

ジャンヌ

用言文	20 例	15.5%	例	おあいにくさまだね。
かさ態体言文	3 例	2.3%	例	飢え死にするのがオチさ。
体言文	25 例	19.4%	例	かあさん、お別れよ。
わ態用言文	24 例	18.6%	例	もっとずっと高いわ。
ですます態	57 例	44.2%	例	おまたせしました。
計	129 例			

ロザリー

用言文	12 例	10.4%	例	ジャンヌひどい。
かさ態体言文	1 例	0.9%	例	頭がさくらんしてしまってるのかしら。
体言文	27 例	23.5%	例	心配してたのよ。
わ態用言文	22 例	19.1%	例	いまスープをあっためるわ。
ですます態	53 例	46.1%	例	おねがいです。
計	115 例			

	用言文等	体言文等	(用) : (体)
マリー・アントワネット	6%	25%	19 : 81
ロザリー	11%	43%	18 : 82
ジャンヌ	18%	38%	32 : 68
フェルゼン	68%	1 %	99 : 1
オスカル	84%	1 %	99 : 1

ルイ	87%	0%	100: 0
アラン	93%	0%	100: 0
アンドレ	97%	0%	100: 0

オスカルの体言文は「アンドレの責任は主人であるわたくしの責任」「王宮はさらに奥の巨大な建物」「うしろにおられるはローアン大司教どの」「こっちがバリ」「そっちがベルサイユ」「だいじょうぶ」「栄養失調?」「だいじょうぶ」。唯一例のわ態用言文は「まだものの善悪もわからぬ子どもを背中からピストルでだましようちにするような男がいつばしに公爵だなどとはこちらもかたはら**いたいわ**、わっはっは…」。

マリー・アントワネットの「かき態体言文」は総て「かしら態」。用言文は「かしら態」1例。「か態」2例「どれほど心配していたか」「そうぞうしいらんちきさわざよりも、こどもたちというほうがどれだけ楽しいか……」。形容詞文5例「すばらしい」「きゃー、うれしい」「なんてすばらしい」「感じの悪い!」「こわい…!」。独白5例「だれもわたしに声をかけられる人はいない」「みんながわたしから声をかけられるのをまっている」「かえってくる」「お金がない…!?」「わたくしの敗北を国民たちが喜んでいる」。その他は4例「遊びあるかずにはいられなかった」「おあいしたかった」「まだなにもおぼえていない。あなたの……」「あなたたちはわたしからなにかもをうばった」

ジャンヌの「かき態体言文」は「わたしはロザリーみたいにおとなしくはできてないのさ」「きれいごとばっかしいってたら、飢え死にするのがオチさ」「ははは、だまされるもんか」。用言文は形容詞文1例「おろかしーっ」。独白3例「わりあいいい馬車だ」「かあさんが死んだ?」「やってみよう」。その他「みんながベルサイユへでかけていくよ」「きょうは宮殿の庭もわたしたちに公開されるんだっていうよ」「ふんおあいにくさまだね」「世が世ならたとえ女中の娘でもベルサイユ宮殿にくらしているのは、わたしたちだったかもしれないんだ」「ああ、そうだよ」「そんなにこのわたしと結婚したい?」「ニコラスはいる?」「あたしは無罪だーっ」「あたしは無罪だ。みんな王妃の陰謀だ」「あのオーストリア女があたしひとりに罪をかぶせてすずしい顔しているんだ!」「ほら、こんなこともあろうかとあれを用意してあったじゃない」「ロザリーだね? あの子がおまえにあたしたちのいどころを教えたんだね?」「やっぱり女だねえ」「あたしのお金をとりにきたんだろう」

ロザリーの用言文は「かしら態」1例。形容詞文8例「ジャンヌひどい」「うれしい」「くやしい」「くやしい」「ジャンヌ、なつかしい」「王妃さまになんかおあいしたくない」「けがらわしい」「あいたい」。独白1例「ジャンヌがわたしを殺そうとした」。その他「じゃ、パン半分あげる」「貴族なんかみんな……殺してやるー!!」

4 ボクちゃん — いったでしょ！ 信じてないの？ ボクはもう きみ以外のだれも 好きにならないって……

『つらいぜ！ ボクちゃん』³のボクちゃんこと田島望^{のぞみ}は自分を「ボク」と呼ぶ少女(高2～高3)。望の親友を自認する江利は主人公の平均的友人の位置にあり、〈発話も平均的基準の表現。〉と期待される。白坂美代^{わたる}は1学年下のオトナシヤカ系のもっとも「——ラシイ」少女。小野寺渡^{わたる}は、これも1学年下の男の子で、望を慕っている。他に、渡と同学年で渡の従姉妹の勝ち気な少女原かおりと、望と同学年の自称プレイボーイ系、矢沢勉が登場する。

ボクちゃん

用言文	519 例	48.6%	例	いわなきゃならないことがある。
かき態体言文	48 例	4.5%	例	だめか。
体言文	370 例	34.6%	例	きみのこと好きよ。
わ態用言文	24 例	2.2%	例	生身の人間だわ。
ですます態	108 例	10.1%	例	これならだれにもわかるでしょう。
計	1069 例			

美代

用言文	7 例	11.7%	例	やっぱりこわい。
かき態体言文	2 例	3.3%	例	どうしたのかしら。
体言文	19 例	31.7%	例	田島さんはステキ。
わ態用言文	11 例	18.3%	例	わたし、いやだわ。
ですます態	21 例	35.0%	例	そんなことはありません。
計	60 例			

かおり

用言文	29 例	13.1%	例	渡ちゃんのそばにいたい。
かき態体言文	2 例	0.9%	例	待ってくれなかったのか。
体言文	110 例	49.8%	例	そんなのそっちの勝手。

³ 高橋亮子『つらいぜ！ ボクちゃん』6冊(ダイソーコミックシリーズ 45～50), 2002年。初出「週刊少女コミック」1974年9月～。小学館フラワーコミックス, 小学館文庫, 双葉文庫等

北大文学研究科紀要

わ態用言文	54 例	14.4%	例	あきらめないわよ。
ですます態	26 例	35.0%	例	ひきさがってなんかいられますか。
計	221 例			

江利

用言文	27 例	20.1%	例	はいはい、わかるよ。
かさ態体言文	1 例	0.7%	例	正常か。
体言文	66 例	49.3%	例	よく見るとステキよ。
わ態用言文	26 例	19.4%	例	見てたわよ。
ですます態	14 例	10.4%	例	男の子みたいでしょ。
計	134 例			

渡

用言文	229 例	56.8%	例	口でいわなくなつてわかる。
かさ態体言文	13 例	3.2%	例	今日は 24 日か。
体言文	55 例	13.6%	例	何しに来たの？
わ態用言文	1 例	0.2%	例	男だもんね。
ですます態	105 例	26.1%	例	ことわるわけないでしょ。
計	403 例			

勉

用言文	195 例	67.2%	例	またあえたね。
かさ態体言文	16 例	5.5%	例	年下かあ。
体言文	52 例	17.9%	例	きみもこのクラス？
わ態用言文	1 例	0.3%	例	男の子だもんね。
ですます態	26 例	9.0%	例	花ですなあ。
計	274 例			

	用言文等	体言文等	(用)：(体)
かおり	14%	38%	16：84
美代	15%	74%	23：77
江利	21%	69%	23：77
ボクちゃん	53%	36%	59：31
勉	73%	18%	79：21
渡	60%	14%	82：19

渡・勉の発話は男性性が薄れているため、ボクちゃんの発話も男性性のグループに入れておかしくないが、サファイア男装やオスカルに比べるとかな

り中性的。

5 吉野美加 — おれは この ^{まち}街がキライだ！ 落ち込んでる ことも ゆるされない にぎやかな街

寿町シリーズ⁴の吉野美加（高1）は自分を「おれ」と呼ぶ少女のピカー。
主要キャストは親友柚木マリ子^{ゆず}、級友西岡稔と大森某。

美加

用言文	73 例	83.0%	例	それならおれもできるぜ。
かき態体言文	9 例	10.2%	例	おれに何かウラミでもあんのかよ。
体言文	4 例	4.5%	例	「今日あたるの?」「すんなっつーの」
わ態用言文	2 例	2.3%	例	「三つ巴のドロ沼じゃー」「くだらないまねせんわい」
ですます態	0 例	0.0%	例	
計	88 例			

西岡

用言文	43 例	69.4%	例	酒屋が休みなんだ。
かき態体言文	13 例	21.0%	例	生まれつきさ。
体言文	5 例	8.0%	例	なにがそんなに気になるわけ?
わ態用言文	1 例	1.6%	例	おれにホレるなんざ10年早いわ。
ですます態	0 例	0.0%	例	
計	62 例			

大森

用言文	23 例	82.1%	例	見てらんねーぜ。
かき態体言文	2 例	7.1%	例	ほく、吉野好きさ。
体言文	2 例	7.1%	例	まだいたの?
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	1 例	3.6%	例	もうすぐクラス替えでしょう。
計	28 例			

⁴ 沖倉利津子の寿町シリーズのうち『脱走行進曲』^{エスケープマーチ}初出「月刊セブンティーン」1985年12月、『カントリー・ロード』初出「月刊セブンティーン」1986年5月、共に沖倉利津子『ケンカ友だち』（マーガレット・コミック1625、1990年2月、集英社）所収

マリ

用言文	15 例	37.5%	例	家事一般なんでもこなすよ。
かき態体言文	0 例	0.0%	例	
体言文	15 例	37.5%	例	ホントにきょうだいみたい。
わ態用言文	7 例	17.5%	例	先生にしかられるわ。
ですます態	3 例	7.5%	例	わかりそうなことでしょ。
計	40 例			

	用言文等	体言文等	(用) : (体)
マリ	37%	55%	41 : 59
西岡	90%	10%	90 : 10
大森	89%	07%	93 : 07
美加	93%	07%	93 : 07

6 クンちゃん — 正直者 ボキャブラリー豊富 ホントおれって
チャコと達の^{とおる}最高ケツサク

『いろはにこんぺいと』⁵の長崎君子(中1)は吉野美加に並ぶ「おれ」と呼ぶ少女の双壁。と期待されるが、残念なことにヒロインとしての登場ではない。しかもわずか2ページ。

あたし長崎君子 13 歳 大洋中学 1 年生 (中学から帰って来た君子)「ただいま」正直者 ボキャブラリー豊富 もちろん自転車だって乗れる (見合い中の父)「おかえり」悩みのまゆげは親ゆずり (父・見合いの相手に)「今のが一人娘の君子です」最近イヤイヤお見合いさせられているパパがいうには、あたしはこのアパートに育てられたようなものだって (父)「いやあ あの子がまたなかなかいい子なんですよ アパートのおにいさんやおねえさんにとってもいい影響をうけてね」(君子)「じゃ おやじ おれピアノいってくるからよ」(なおも見合い中の父)「いやーっ ハハハハハ」ホントおれって チャコと達の^{とおる}最高ケツサクかな

それだけ。採録すべき発話が一つも無い。そこで替わりに6年前にさかのぼり、クンちゃんこと長崎君子(小1)——自分を「おれ」と呼ぶ女兒——の発話を見る。

⁵ くらもちふさこ『いろはにこんぺいと』(集英社文庫)1998年1月(1992年12月集英社による)。初出「別冊マーガレット」1982年9月～1983年4月

クンちゃん

用言文	57 例	74.0%	例	かーちゃんみたくななんないよな。
かき態体言文	14 例	18.2%	例	おれチャコちゃんちの子どもになっちゃダメか？
体言文	6 例	7.8%	例	おれ魚きらい。
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	0 例	0.0%	例	
計	77 例			

用言文等 体言文等 (用)：(体)

クンちゃん 92% 8% 92：8

7 小早川那智 — それは いつも お前と一緒に いたいから
なんでそれが わからないんだよ

『ガラス色の BOY』⁶ は高校の入学式から始まる。

「ねえ知ってる？ Bクラスの！」「知ってる！ 加納中から来てる人でしょ？」
「え？ 誰？」「知らないの？ すんごい美形が入学してきてんのよ！」「あたしこの
高校に来てよかった！」「一緒にいる子もけっこうカッコいいって話」「ねえその2人
の名前は？」「小早川那智と今井浩志！」「ねえ、新入生のあいさつ 小早川那智だっ
て！」「えーっ あれって入試でトップの子がやるんですよ！」「頭もいいんだ す
ごーい」「おまけにスポーツも万能って話！」「もうだめ あたしファンになっちゃ
う！！」「あたしもーっ」「那智さんが一番だなァー」「あたしもーっ」「ホラ！ 那智さ
んがしゃべるわよ！」

そして、校則通りの制服で壇上に上がり、女の子のほとんどをショックで
倒れさせた小早川那智（高1）は、自分を「俺」と呼ぶ少女。

今井浩志は幼なじみ。そして、中学以来の友人でバスケ部のマネージャー
（実名わからず）と。浩志に接近する吉岡さつき。皆、同学年。

小早川那智

用言文 122 例 78.7% 例 試合に出てたんだぜ。

⁶ あいざわ遥『ガラス色の BOY』前編・後編、(りぼんマスコットコミックス 593・603)

1991年12月、1992年3月。初出「りぼん」1991年5月～12月

北大文学研究科紀要

かさ態体言文	13 例	8.4%	例	それでも平気なのか。
体言文	18 例	11.6%	例	お前もキライ。
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	2 例	1.3%	例	駅の方、行ってみます。
計	155 例			

今井浩志

用言文	74 例	88.1%	例	気持ちは変わらないよ。
かさ態体言文	6 例	7.1%	例	大丈夫か。
体言文	4 例	4.8%	例	もう試合に出るの？
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	0 例	0.0%	例	
計	84 例			

マネージャー

用言文	6 例	9.0%	例	今井ちゃんと離れちゃうんだよ。
かさ態体言文	0 例	0.0%	例	
体言文	37 例	55.2%	例	不真面目よ。
わ態用言文	15 例	22.4%	例	参加すべきだよ。
ですます態	9 例	13.4%	例	体はなまってるでしょ。
計	67 例			

西岡さつき

用言文	13 例	25.5%	例	仲直りしちゃったんだ。
かさ態体言文	1 例	2.0%	例	追いかけてるのかしら。
体言文	24 例	47.1%	例	あんな人大っ嫌い。
わ態用言文	5 例	9.8%	例	あやまんなくていいわよ。
ですます態	8 例	15.7%	例	共同戦線はりませんか。
計	51 例			

	用言文等	体言文等	(用)：(体)
マネージャー	9%	78%	10：90
西岡さつき	27%	57%	33：67
小早川那智	87%	12%	88：12
今井浩志	95%	05%	95：05

8 松下 楓 ― きのうより 今日の方が ずっと好き 今日より明日 あふれる想いを

『無敵のヴィーナス』⁷ は中2の4月から始まる。

自分を「オレ」と呼ぶ少女、松下^{かえで}楓（中2～中3）と友人^{あつし}のの^か、楓の従兄弟^{あつし}敦と敦の友人^{あつし}てっぺい（楓は小5の時からてっぺいのことが気になっていた）の4人が同じクラスになる。それぞれの反応は――

のの^か ―（楓に）「早く早く、また同じクラスだったよ」

楓 ―（のの^かに）「やったね」「また1年間よろしく」（敦に）「何 恥ずかしい声出してんだ ウニ頭」（てっぺいに）「どーいううわさだよ」

敦 ―「うわあああッ」（楓に）「出やがったな ^{あくりょう}悪霊その1」（てっぺいに）「誰が親友だ はなれろ疫病神」

てっぺい ―（敦に）「また同じクラスだぜ いやあよかったなあ また一緒に騒ごーな」（楓に）「ども 敦くんの大親友のてっぺいです。おウワサはかねがね」「外見と中身は大ちがいで 男をヘーキでぶっとばすとか 昔は何十人もの子分を引きつれて歩いていたとか 町内の相撲大会で3年連続して優勝したとか 全部こいつ（敦）からきーたことなんだけどね」

楓「敦一つ」――敦「なんでこうなるんだよ」

楓はてっぺいの希望を入れて最終的には「あたし」というようになるが…

楓

用言文	253 例	66.9%	例	好きだよ。
かき態体言文	25 例	6.6%	例	くつろいでる場合かよ。
体言文	53 例	14.0%	例	おあいにくサマね。
わ態用言文	1 例	0.3%	例	相手にならーなんて10年早いわ。
ですます態	46 例	12.2%	例	好きな人がいるんです。
計	378 例			

てっぺい

用言文	284 例	69.3%	例	いい雰囲気だよな。
-----	-------	-------	---	-----------

⁷ 椎名あゆみ『無敵のヴィーナス』1～4 りぼんマスコットコミックス 619, 633, 659, 669 1992年7月, 11月, 1993年4月, 6月。初出「りぼん」1991年初夏～1993年2月

かさ態体言文	19 例	4.6%	例	図星なのかな。
体言文	56 例	13.7%	例	俺も好きよ。
わ態用言文	3 例	0.7%	例	「とれらあ」「泣くわ泣くわ」「ねーわな」
ですます態	48 例	11.7%	例	そんな気がただけです。
計	410 例			

敦

用言文	102 例	91.1%	例	まぬけだよなー。
かさ態体言文	10 例	8.9%	例	覚えてねえのか？
体言文	0 例	0.0%	例	
わ態用言文	0 例	0.0%	例	
ですます態	0 例	0.0%	例	
計	112 例			

ののか

用言文	41 例	43.2%	例	楓ちゃんは女の子なんだよ。
かさ態体言文	1 例	1.1%	例	私だけかしら。
体言文	38 例	40.0%	例	有利よね。
わ態用言文	8 例	8.4%	例	間違いないわね。
ですます態	7 例	7.4%	例	書いてあったでしょ。
計	95 例			

	用言文等	体言文等	(用)：(体)
ののか	44%	46%	48：52
てっぺい	74%	14%	84：16
楓	74%	14%	84：16
敦	100%	0%	100：0

9 園丘花子・園丘太郎

『ミスターレディ』⁸の園丘家の双生児、花子と太郎（中1）は共に「反《自然性》」的感性に富み、「反《自然性》」的思考・行動にあこがれているが、祖

⁸ 里中満智子『ミスターレディ』1・2（講談社漫画文庫），2002年11月。初出「なかよし」1976年～1977年

母両親から「《自然性》らしさ」を過大に期待されている。稔と柳原りり子は級友。

花子

用言文	203 例	38.0%	例	ほんとうだよ。形容詞 36 かしら態 4
かき態体言文	15 例	2.8%	例	たえられないのかな。かしら態 7
体言文	191 例	35.8%	例	不潔よね。
わ態用言文	94 例	17.6%	例	よかったわね。「だもの」 9 例
ですます態	31 例	5.8%	例	あたしがもっていきます。
計	534 例			

太郎

用言文	196 例	73.4%	例	にくめないんだよ。形容詞 16 かしら態 1
かき態体言文	9 例	3.4%	例	よくあることさ。かしら態 2
体言文	47 例	17.6%	例	やさしさって大好きなの。
わ態用言文	7 例	2.6%	例	たのもしいわ。「だもの」 2 例
ですます態	8 例	3.0%	例	言わなきゃいけませんか。
計	267 例			

りり子

用言文	52 例	20.2%	例	同情しちゃう。形容詞 13 「かしらん」 1
かき態体言文	7 例	2.7%	例	なにさ。かしら態 4
体言文	132 例	51.2%	例	友だちよね
わ態用言文	47 例	18.2%	例	こわくないわよね。「だもの」 5
ですます態	20 例	7.8%	例	おとなですもの
計	258 例			

稔

用言文	52 例	91.2%	例	きらいなんだよ。形容詞 6 例
かき態体言文	2 例	3.5%	例	おなかでもすいたのか？
体言文	2 例	3.5%	例	口にださなきゃだめなの？
わ態用言文	例	0.0%	例	
ですます態	1 例	1.8%	例	かえってらしたんですか。
計	57 例			

	用言文等	体言文等	(用) : (体)
りり子	23%	69%	25 : 75
花子	41%	53%	43 : 57

太郎	77%	20%	79:21
稔	95%	04%	96:4

りり子は確かに（ボクちゃんの）江利に近いが、花子は（ボクちゃんよりは）（美加の）マリや（楓の）ののかに近い。稔は（那智の）浩志に近く、太郎は確かに浩志や（楓の）敦からは隔たっているが、それでも（ボクちゃんの）渡や勉から離れてはいない。花子・太郎の「反《自然性》」はおもに行動によって表現され、二人だけの対話やそれぞれの独白の言葉の中では顕著でない。

10 デボラ

『デボラがライバル』⁹の**デボラ**こと市松梅之助（大2）は茶道市松流の家元ながら跡継ぎを嫌って家出しアパート暮らし、「女にはキョーミのない」「オカマ」と自称するが、隣室の関本**朝代**（大1）と恋仲になって行く。

デボラ

用言文	109 例	14.2%	例	良一に会ったよね。形容詞 55	かしら態 4
かさ態体言文	11 例	1.4%	例	地方公務員か。「かしら」10 例	
体言文	403 例	52.3%	例	さびしがりやさんのよね。	
わ態用言文	215 例	27.9%	例	不思議じゃないわよね。「だもの」4	
ですます態	32 例	4.2%	例	男に決まってるでしょ。	
計	770 例				

朝代

用言文	136 例	34.5%	例	よかったよね。形容詞 27	
かさ態体言文	7 例	1.8%	例	心配するまでもなかったのかなあ。かしら態 4	
体言文	152 例	38.6%	例	門前払いくらっちゃったのよね。	
わ態用言文	42 例	10.7%	例	なんだか大変だったわね。「だもの」3	
ですます態	57 例	14.5%	例	そんなことしてません。	

⁹ 多田かおる『デボラがライバル』1・2（集英社文庫）2002年6月。初出「別冊マーガレット」1987年5月～1988年11月および1997年8月～9月、今回は1987～88年分のみを採録

計 394 例

用言文等 体言文等 (用):(体)

デボラ 16% 80% 16:84

朝代 36% 50% 43:57

デボラは「オカマ」と自称しているが、その性行は普通の男性。園丘兄妹のような「反《自然性》」へのあこがれは見られない。「オカマ」は言語表現の自由を確保するための手段に過ぎない。

11 菊川涼音

『前略・ミルクハウス』¹⁰ のヒロイン松本^{せりか}芹香(大1)は、女装青年菊川^{すずね}涼音(大2)とその従兄弟の安原^{ふじ}藤(高3)とが居住している洋館に(お手伝いがわりに?)下宿する。他に下宿人は橋本^{みずき}水城(2X歳)という「オネーサン」と涼音の父の友人吉川氏とその息子^{いきむ}勇(小4)。

芹香

用言文	474 例	34.3%	例	なつてほしいんだよね。形容詞 102 かしら態 4
かき態体言文	46 例	3.3%	例	どしたらいいのかな。かしら態 9
体言文	516 例	37.4%	例	当然よね。
わ態用言文	146 例	10.6%	例	ちがうわよねエ。「だもの」 35
ですます態	198 例	14.3%	例	ちゃんとできてますよ。
計	1380 例			

水城

用言文	182 例	30.7%	例	すぐほれちまうんだよねえ。形容詞 48
かき態体言文	13 例	2.2%	例	何が気に入らないのさつ。かしら態 5
体言文	264 例	44.5%	例	少年からのラブレター?
わ態用言文	99 例	16.7%	例	リアリティーがあったわね。「だもん」 ⁸ 「だこと」 ¹
ですます態	35 例	5.9%	例	なかなかがんばりますわね。

¹⁰ 川原由美子『前略・ミルクハウス』1～6 (ソノラマコミック文庫) 2000 年 5 月～10 月。
初出「別冊少女コミック」1983 年 3 月～1986 年 5 月

北大文学研究科紀要

計 593 例

藤

用言文	519 例	75.2%	例	おぼえてないんだよね。形容詞 49 かしら態 1
かき態体言文	36 例	5.2%	例	やっぱりそーだったのかっ。
体言文	69 例	10.0%	例	なんでオレがいくのよ。
わ態用言文	11 例	1.6%	例	よかったと思うわ。「だもん」5「あ」1
ですます態	55 例	8.0%	例	よく食欲なんかありますねーっ。
計	690 例			

勇

用言文	102 例	73.9%	例	決死の思いだったんだぞ。形容詞 7
かき態体言文	3 例	2.2%	例	いてもいいのかな。
体言文	29 例	21.0%	例	おねーちゃんていくつ。
わ態用言文	2 例	1.4%	例	「大阪だもん」「パパがきめることだもん」
ですます態	2 例	1.4%	例	みなしごなんです。
計	138 例			

涼音

用言文	592 例	50.4%	例	そーゆーとこ好きだよ。形容詞 163 かしら態 1
かき態体言文	46 例	3.9%	例	そういうとこが好きさ。かしら態 3
体言文	325 例	27.7%	例	芹香ちゃんが好きなの。
わ態用言文	65 例	5.5%	例	愛しているわっ。「だもん」 25 例
ですます態	146 例	12.4%	例	かわいそうですわ。
計	1174 例			

	用言文等	体言文等	(用) : (体)
水城	33%	61%	35 : 65
芹香	38%	49%	44 : 56
涼音	54%	33%	62 : 38
勇	76%	22%	77 : 23
藤	80%	12%	87 : 13

涼音もまわりから「オカマ」と言われることがあるが、本人は「女装の男性」を演技しているだけ。ただし、「女装」して「女性」を演技するときと、「女装」によって「男性」を演技する場合（女性は「女装」をしない。）とがある。言葉づかいはセリフの如きもので、状況によって変わる。平均すれば

中性的.

マリー・アントワネット	F	6%/81			
マネージャー	F	9%/90			
サファイヤ F	F	10%/87			
ロザリー	F	11%/82			
サファイヤ乙女	F	11%/75			
かおり	F	14%/84			
美代	F	15%/77			
ヘケート乙女	F	15%/50	デボラ	あたし	16%/84
サファイヤ女性	F	16%/78			
ヘケート F	F	18%/78			
ジャンヌ	F	18%/68			
ヘケート全	F	20%/74			
江利	F	21%/77			
りり子	F	23%/75			
サファイヤ FF	F	23%/65			
西岡さつき	F	27%/67			
ヘケート 0	F	28%/72			
サファイヤ独白	F	28%/68			
水城	F	33%/65			
朝代	F	36%/57			
マリ	F	37%/59			
芹香	F	38%/56	花子	f	41%/57
ののか	F	44%/52			
勇	M	76%/23	涼音	女装	54%/38
勉	M	73%/21	ボクちゃん	ボク	53%/31
渡	M	60%/19	太郎	m	77%/21
てっぺい	M	74%/16	楓	オレ	74%/16
藤	M	80%/13	小早川那智	俺	87%/12
西岡	M	90%/10	サファイヤ FM	男装	65%/11
チンク	M	58%/ 8	クンちゃん	おれ	92%/ 8
大森	M	89%/ 7	サファイヤ騎士	男装	92%/ 8
今井浩志	M	95%/ 5	美加	おれ	93%/ 7
稔	M	95%/ 4	サファイヤ男装	男装	80%/ 5
フランツ	M	85%/ 2	サファイヤM	男装	83%/ 4
フェルゼン	M	68%/ 1	オスカル	男装	84%/ 1
サファイヤ MM	M	79%/ 0			
ルイ	M	87%/ 0			
アラン	M	93%/ 0			
アンドレ	M	97%/ 0			
敦	M	100%/ 0			

12 まとめ

以上の各キャラクタのゴチック数値を「普通の」性と「反《自然性》」に分けて示せば前ページの表のようになる。

はじめに述べたように、本稿は、

文の性性の観念が、古新・老若を位相とする異種の文を男女の差と見る誤認文法に由来する

との考えのもとに、その観念は

「用言文 = m」「体言文 = f」を本則とし、「かさ態 = m」「わ態 = f」を付則としている。

という前提を立てて、用例を採録・集計したもの。結果は前提を否認するものではない。観念上の男性語・女性語は、

男女が《自然性》に合った文を使うというよりは、《自然性》に対応しない文を使わないというかたちになっており、そのために女性は、丁寧表現でない平常の表現においても「ですます態」を用言文の代替に使うことが多く、男性は専ら体言文の使用を避けることにのみ努める。

となっている。

男性語・女性語の観念は、日本語史上、1900年頃に起きた一時的な誤認文法であるが、観念として成立した以上、諸方にいろいろの影響を及ぼしたものであると思われる。用言文が老人語になるべき運命を持っていたため、体言文を禁じられた男性は、常に相手を見下した立場に立つてのみ発話をせざるを得なくなった。一方が他方を一方的に見下す発話は、カップルの対等な対話を成り立たせない¹¹。

¹¹ 「やさしさをうまく表現できぬこと許されており父の世代は」（俵万智『サラダ記念日』1987年5月、河出書房新社）——許されているのではなく、表現するすべを失っている。

江戸末期のカップルの対話では男女間に用言文・体言文の使用に差が無かった。『潮来婦志後編』¹²の水之江と三之助、『春色辰巳園』¹³の仇吉・米八と丹次郎の対話は次のようになっている¹⁴。

	水之江F	三之助M	仇吉F	米八F	丹次郎M
用言文	57%	76%	69%	75%	72%
かさ態体言文	32%	16%	13%	18%	10%
体言文	3%	5%	0%	0%	7%
わ態用言文	4%	2%	16%	4%	10%
ですます態	4%	0%	2%	3%	1%
水之江	89%／7	⇔	三之助	93%／7	
仇吉	82%／17	⇔	丹次郎	82%／18	
米八	93%／4	⇔			

一方、1900 頃の『金色夜叉・前編』¹⁵ 及び『野菊の墓』¹⁶ のカップルの対話は次のようになっている。

	宮F	貫一M	民子F	政夫M
用言文	23%	72%	13%	32%
かさ態体言文	0%	14%	0%	11%

¹² 式亭三馬『潮来婦志後編』1806 年附言，1840 年小三馬序，岡島真七板元

¹³ 為永春水『[梅暦／餘興] 春色辰巳園』1833 年～1835 年。（中村幸彦『春色梅児誉美』（日本古典文学大系 64），1962 年 8 月，岩波書店）

¹⁴ 比較のために近代例と同じに分類集計を示したが，江戸期の資料についてこの種の分析を行なうのは無意味。当時はまだ文の性性の観念という誤認文法が成立していない。水之江や仇吉・米八の話振りを「男性並に乱暴でぞんざい」等と認識すべきではない。三之助や丹次郎の話振りも「乱暴でぞんざい」なのではなく砕けた優しい表現。

¹⁵ 紅葉山人『金色夜叉』1898 年 7 月，春陽堂。（『尾崎紅葉著 金色夜叉（前編） 春陽堂版』（精選名著複刻全集近代文学館），1973 年 11 月，日本近代文学館）。初出「読売新聞」1897 年 1 月

¹⁶ 伊藤幸次郎『野菊の墓』1906 年 4 月，俳書堂。（『伊藤左千夫著 野菊の墓 俳書堂版』（新選名著複刻全集近代文学館），1974 年 5 月，日本近代文学館）。初出「ホトトギス」1906 年 1 月

体言文	32%	5%	18%	12%
わ態用言文	39%	0%	15%	1%
ですます態	6%	9%	54%	42%

宮	23%/75	⇔	貫一	86%/6
民子	13%/71	⇔	政夫	44%/24

『金色夜叉・前編』は、宮の発話は熱海の海岸の別れの最後まで（第2章より第8章まで）を総て採録したが、貫一については熱海での饒舌は一方的な発話であり対話とは言い難いので省き、第2章より第5章までとした。それでも、対等なカップルの対話となっているとは言い難い。『野菊の墓』の方は、「女性語使用」が年長者であることと、互いに、ですます態を多用していることが不均衡を和らげている。

本稿では、文の性性の観念を明らかにするため、ことさら《自然性》に対応する発話を拒否するキャラクタの発話を取り上げてきたが、それらは、カップルの対話として捉えると、江戸期と同じバランスを保っている。自分を「ボク」「おれ」と呼ぶ少女たちのBFとの対話は、

ボクちゃん	53%/31	⇔	渡	60%/19
楓	74%/16	⇔	てっぺい	74%/16
美加	93%/7	⇔	西岡	90%/10
小早川那智	87%/12	⇔	今井浩志	95%/5

お互いに「男性語」を使うことによって、同い年の対等なカップルの対話が無理なく行われる。ボクちゃんは中性的。その分、年下の渡ののですます態の多用でバランスをとっている。ただし、この方式は、中学生・高校生でないと無理か？「大人同士」の対等なカップルの対話では、デボラ・涼音の方式になるのか？

朝代	36%/57	⇔	デボラ	16%/84
芹香	38%/56	⇔	涼音	54%/38

しかし、このようなバランスを保ったカップルの対話は、フィクションの世界でも決して多数派ではない。多くはカップルの一方が「女性語」で話し、

他方が「男性語」で話し、言葉の上だけでは対等でない状態になっている。彼らは、そのバランスをどのようにして保っているのだろうか？

対話が、一方が「女性語」、他方が「男性語」になるのは、必ずしも女性と男性のカップルの場合とは限らない。『ボクが泥棒になった理由』¹⁷ のママ(尾上蝶子)とボク(龍三郎)や、『ミステリー・ママ』¹⁸ の母(谷本真由子)と娘(美代子)、そして『ぽっかぽか1』¹⁹ の、「はは(田所麻美)」と「あすか」も、「女性語」と「男性語」の対話。

ママ F	13%/87	⇔	ボク(10歳)M	66%/22
真由子(母) F	13%/86	⇔	美代子(小2) F	57%/43
はは F	44%/50	⇔	あすか(園児) F	56%/38

これらの組では、言葉の上だけでどのようにアンバランスな状態になろうと、両者の関係が崩れる心配が無いことは明らか。

この方向が進めば、「男性語」は「児童語」に転ずるかもしれない。

¹⁷ 田村由美『ボクが泥棒になった理由』1～4 2000年8月～9月 小学館文庫。初出「デラックス別冊少女コミック」1990年7月～1997年2月

¹⁸ 森本梢子『ミステリー・ママ』1998年10月、集英社。初出「OFFICE YOU」1987年7月～11月

¹⁹ 深見じゅん『ぽっかぽか1』1995年8月、集英社。初出「YOU」1987年2月～1989年2月。なお、『ぽっかぽか2』以後、15年近くの連載で、あすかは園児のまま成長する(体言文の比が大きくなる)。

サファイヤ F

用言文	形	07	
動+ない	わ	2	つめたい。
動+よう	わ	1	できない。
動+ちゃった	わ	2	どうしよう。
	わ	1	出ちゃった。
かき語体言文	動+たの	01	
	かしら	1	見つかったのかしら。
体言文	体	28	
	ね	4	だいじょうぶ。
	体	4	おひっこしね。
	体	7	花巻。
	よ	1	ごわいの。
	形+の	1	心配しなくていいのよ。
	形+の	1	とりつかれてるらしいの。
動+れてるらしいの	動+の	1	はずせっていうの？
動+の	よ	2	あるよ。
動+ていくの	よ	1	持っていくの？
動+たの		3	いたの？
体+だったの		1	おうちだったの？
体+なの	よ	1	修業なのよ。
形+もの		1	ないもの。
わ語用言文	形	27	
	わ	3	恐ろしいわ。
動+たい	わ	1	お会いしたいわ。
動+ない	わ	2	もどろなくちゃならないわ。
動+ない	わよ	1	こわくないわよ。
体+じゃない	わよ	1	うさぎじゃないわよっ。
動	わ	4	行くわ。
動	わね	1	くるわね。
動	わよ	2	守るわよ。
動+てみる	わ	1	行ってみるわ。
動+れる	わ	1	寝られるわ。
動+た	わ	2	わかったわ。
動+なかつた	わ	1	知らなかつたわ。
体+だった	わ	1	むちゃだったわ。
体+だ	わ	2	だめだね。
動+られるんだ	わ	1	出られるんだわっ。
動+てきたんだ	わ	1	ばけてきたんだわ。
動+たようだ	わ	1	助かったようだね。
体+だ	こと	1	すてきなこと。
ですます語		19	
動+ます		3	ききいれます。
動+ません		2	持ちません。
動+ましよう	ね	1	むかえに行きましよう。
動+ていきましよう	ね	1	生きていきましようね。
動+たでしよう	ね	1	さみしかつたでしようね。
動+たんでしよ		1	きたんでしよ。
体+なのでしよ		1	案内するつもりなのでしよ。
動+てくれました		1	帰てくれました。
形+ところでした		1	あぶないところでした。
体+です	ものね	1	女ですものね。
動+たんです		1	見たんです。
動+てきたんです		1	帰てきたんです。
動+たんです	もの	1	わるかったんですもの。
動+れたんです	わ	1	のまされたんですわ。
動+ますの	よ	1	できますのよ。
動+ないことでの		1	いえないことでの。

サファイヤ F F

用言文	動+ない	05	
	かしら	1	いけいないっ。
	動	1	していらっしやるかしら。
	動+てる	1	なってる。
動+ていよう		1	していよう。
動+た		1	会えた。
かき語体言文	体	02	
	かしら	1	チンクちゃんかしら
	かしら	1	もどつたのかしら
体言文	体	06	
	ね	1	へんね。
	体	1	おかあさまよっ。
動+ているの	ね	1	できているの。
動+たの	ね	1	通じたのね。
動+たの	よ	1	さがしたのよ。
動+てたの	ね	1	生きてたのね。

わ語用言文	形	07	
	わ	1	ないわ。
動+ない	わ	2	出ないわ。
動	わ	1	出すわ。
動+た	わ	1	はいつてきたわっ。
体+だ	わ	1	ろう人形だわっ。
動+たんだ	わ	1	まちがえたんだね。
ですます語	動+ます	11	
	動+ます	1	ちがいます。
	動+ます	1	やれますわ。
動+てしまします	わ	1	死んでしまします。
	動+ませぬ	1	おりませぬ。
動+ましよう		2	しましよう。
体+ございましよう		1	ご不自由でございましよう。
動+たんでしよ		1	したんでしよ。
動+でしよ	ね	1	くじけるでしよね。
体+です	ね	1	あの島ですわ。
体+でしたの		1	ご無事でしたの。

サファイヤ乙女

用言文	動+た	02	
	体+だ	1	よかった。
		1	いまだっ。
かき語体言文	動+ない	02	
	かな	1	つかまえてくれないかなあ。
	動+れない	1	あやしまれないかしら。
体言文	体	03	
	体	1	きれい。
	ね	1	平番ね。
		1	知っているの。
わ語用言文	形	09	
	わ	2	うれしいわ。
動+ない	わ	1	食べないわ。
体+だ	わ	3	水のあわだわ。
わけだ	わ	1	なつたわけだわ。
動+んだ	わ	1	行けるんだわ。
動+たんだ	わ	1	落としたんだわ。
ですます語	動+ます	16	
	動+ます	4	います。
	動+ます	3	あけますわ。
ございます	わ	4	おなつかしゅうございます。
体+でございます		2	少女でございます。
動+ません		1	いけません。
動+られませぬ		1	申しあげられませぬ。
体+です		1	ぬげ道です。
体+です	わ	1	いやですわ。
動+られましたの	よ	1	つかまえられましたのよ。
体+ですの		1	そうですの。

サファイヤ FM

用言文	形	17	
	形	2	するがよい。
	か	1	プラスチック じゃないか。
動+ない	よ	1	忘れないよ。
動	ぞ	1	あけわたす。
動+でやる		1	なるぞ。
動+う		1	助けてやる。
動+だろ		1	返そう。
動+たの		1	驚くだらう。
動+たの		1	消えたのらう。
体+だ		5	出動だ。
動+の		1	いらっしやるのだ。
動+たんだ	ね	1	しかけてきたんだね。
体言文	動+の	02	
	体+なの	1	いいうの？
		1	あなたなのっ？
ですます語	体+です	07	
	体+です	2	出陣です。
動+てまいます	か	1	なんですか。
動+ませぬ		1	やってまいます。
体+でしよ		2	できません。
		1	なんでしよ。

文の性性 ―「ボク」「おれ」と呼ぶ少女たちの言葉 ―

サファイヤM

用言文	形	ね	48	いいね。
	形	ない	1	ないよ。
	動+ない	よ	2	承知しないよ。
	動+ない	か	1	聞かせてくれないか。
	動		3	何をいう。
	動	ぞ	1	斬るぞ。
	動	よ	2	あげるよ。
	動+ている	1	1	信じているよ。
	動+てる	とも	1	知ってるとも。
	動+てやる		1	してやる。
	動+られる		1	ぬけられる。
	動+う		2	やろう。
	動+う	か	1	かくまってもらおうか。
	動+よう		1	呼んでこよう。
	動+たろう		2	こわかったらう。
	体+だろ		1	かけたみたいなんだから。
	動+たんだろ		1	見ましがえたんだろ。
	形+た	か	1	おそかったか。
	動+た		1	つかれた。
	動+た	か	1	わかったか。
	動+た	な	1	きたな。
	動+た	よ	1	わかったよ。
	動+てしまった		1	失ってしまった。
	体+だ		7	名案だ。
	体+だ	な	2	しわざだな。
	体+だ	ね	1	見物人だね。
	体+だ	よ	2	お話だよ。
	形+んだ	よ	1	やさしいんだよ。
	動+たいんだ		1	まねきたいんだ。
	動+ないんだ		1	いなければならぬんだ。
	動+んだ		1	いうんだ。
	動+ているんだ		2	騒いでいるんだ。
	動+たんだ		1	答えたんだ。
かき懸体言文	体	か	06	脱走か。
	動+の	か	2	くるのか。
	動+の	かな	1	捨てるのかな。
	体+なの	かしら	1	ごみ捨て場なのかしら。
体言文	体		01	だれ？
わ懸用言文	体+だ	もの	02	少女だもの。
ですます懸			09	
	動+ています	よ	1	思っていますよ。
	動+ました		1	助けましたね。
	動+ました	ね	1	きてくれましたねえ。
	体+です		1	忘れちゃだめです。
	動+んです		1	あるんです。
	動+たんです	よ	1	かけられていたんですよ。
	体+だっただです	ね	1	ご無事だったんですね。
	体+なのです		1	魔法使いなのです。
	体+なんです	か	1	だれなんですか。

サファイヤMM

用言文	形	か	15	チンクじゃないか。
	動+ない		1	いらぬ。
	動		1	何をするつ。
	動	か	1	どうするか。
	動	か	2	ないぞ。
	動+てる		1	だのむよ。
	動+よう		1	してろ？
	動+た	な	1	やめよう。
	状+だ		3	さしたな。
	体+だ	よ	1	じゃまだ。
	動+の		1	男だよ。
	動+の		1	いうのだい。
ですます懸			04	
	動+ません	よ	1	ありませんよ。
	動+のでしょう		1	おっしゃるのでしょうか。
	体+です	とも	1	男ですとも。
	動+ておいです		1	なさっておいですか？

サファイヤ騎士

用言文	形		11	これでいい。
	形	よ	1	王子ではないよ。
	動	ぞ	1	相手になるぞ。
	動+ている		1	している。
	動+てる	な	1	しているなつ。
	動+てる	とも	1	知ってるとも。
	動+てる	よ	1	知ってるよ。
	体+だろ		1	閉じこめられてはすだろ。
	体+だ		2	絶好のチャンスだ。
	体+だ	ね	1	ひきょうものたちだね。
体言文	体		01	
	体		1	私はリボンの騎士。

サファイヤ独白

用言文	形	かしら	07	いいかしら。
	動+たい	な	1	逃げ出したいなあ。
	動+う		3	行こう。
	動+よう		1	しよう。
	動+ちやつた		1	おとしちやつた。
かき懸体言文	体	かしら	02	
	体+だつたの	か	1	無事かしら。
	体+だつたの		1	そうだったのか。
体言文	体	ね	05	
	動+たこと	ね	1	へんね。
	形+の	よ	1	たくさんのことね。
	体+だつたの	ね	1	つらのよ。
	体+なの		1	王子さまだったのね。
	体+なの		1	女の？
わ懸用言文	動+たい	わ	14	行きたいわ。
	動+られない	わ	2	あるわ。
	動+た	わ	4	見たわ。
	体+だつた	わ	1	この部屋だったわ。
	体+だ	わ	3	服だわ。
	動+たのだ	わ	1	いらっしやつたのだわ。
	体+なのだ	わ	1	女ののだわ。
	動+ようだ	わ	1	いきすぎるようだ。
ですます懸			04	
	動+ます	よ	1	お世話になりますよ。
	動+ましよう		1	使いましよう。
	動+たでしよう	ね	1	つらかったでしようね。
	動+なかつたでしよう	ね	1	わからなかつたでしようね。

ヘケートO

用言文	動+ない	か	05	とばないか。
	形	かしら	1	つれいゆわんし+ないかしら。
	動	よ	1	つぶすよつ。
	動+てるだろう		1	知ってるだろう。
	動+たんだ		1	はいつてきたんだい。
体言文	体		05	
	体	よ	2	残念。
	動+たところ	よ	2	あたりまえよ。
	動+たところ		1	思ったところよ。
わ懸用言文	形	わ	08	
	動+ない	わ	1	ないわ。
	動+ない	わ	1	見えないうわ。
	動+ない	わよ	1	いないわよ。
	動+てる	わ	1	やってるわ。
	動+た	わ	1	きたわよつ。
	動+た	わね	1	ついたわね。
	体+だ	ね	1	ねこだね。
	体+だ	わね	1	お城だわね。

北大文学研究科紀要

ヘケート(サファイヤF)

体言文		03	
形+の	よ	2	はじめてのところがよ。
	よ	1	きてほしいのよ。
ですます態		01	
動+ました		1	きました。

ヘケートF

用言文	動	01	
		1	とおる。
かさ態体言文	体+なの	01	
	かしら	1	りっぱなのかしら。
体言文	体	03	
	動+たの	2	気持。
	よ	1	とったのよ。
わ語用言文	体+だ	04	
	わ	2	はじめてだね。
	動+たみたいだ	1	しみこんだみたいだね。
	動+たようだ	1	咲いたようだね。
ですます態		02	
動+ております		1	ぞんじております。
動+ません	わよ	1	はなれませんかよ。

ヘケート乙女

用言文	動+ない	02	
		2	できない。
体言文	体	02	
		2	ほんと。
ですます態		09	
動+ます		1	ちがいます。
動+ます	わ	1	おひきとめしますわ。
動+ません		1	お会いいたしません。
動+まじよ		1	いたしまじよ。
動+ておりました		1	お待ちしておりました。
体+です		1	下です。
体+です	わ	2	悪魔の子ですわ。
動+かったのですの		1	お会いしたかったのですの。

テンク

用言文		118	
形	とも	2	いいたい。
形	な	1	いいいとも。
形	な	4	なさけないなあ。
形	や	1	ないや。
形	よ	4	いいよ。
動+たい		1	いいたいよ。
動+たい	な	1	はいりたいなあ。
動+ない		5	知らない。
動+ない	や	3	はがれないや。
動+ない	よ	2	いけないよ。
動+ない	ぞ	1	答えるかもしれないぞ。
動+られない		2	いられない。
体+らしい	や	1	地下らしいや。
動		1	いるっ。
動	さ	2	わかるさ。
動	え	1	あえるぞ。
動	な	4	思いつくなあ。
動	よ	2	決まってる。
動+てる	よ	1	むいてるよ。
動+てる	ぞ	1	騒いでるぞ。
動+られる	よ	1	つかまえられるよ。
動+う		1	返そう。
動+よう		1	入れかえよう。
動+よう	か	1	手当てしてあげようか。
動+てみよう		2	してみよう。
動+てやろう		1	ためてやろう。
動+ちやおう		1	かくれちやおう。
動+んだらう		1	帰れるんだらう。
動+ちやんだらう	な	1	行くもったんだらうなあ。
動+た		8	見た。
動+た	ぞ	3	でたぞ。

動+た	な	2	こまったな。
体+だった		1	お姫さまだった。
体+だった	か	1	着物だったか。
動+ちやった		2	きちやった。
動+れちやった		1	とれちやった。
体+だ		19	ほんた。
体+だ	な	3	にせものだな。
体+だ	ね	1	そうだねえ。
体+だ	もの	1	天使だもの。
体+だ	よ	4	男だよ。
動+はずだ		1	使うはずだ。
動+はずだ	よ	1	生まれるはずだよ。
体+なものだ		1	不便なものだ。
形さそうだ		1	よさそうだ。
体+みたいだ	な	1	魔法みたいだなあ。
動+ないんだ		1	わからないんだ。
動+んだ	な	3	いるんだ。
動+んだ	な	1	生まれるんだな。
動+んだ	ね	1	つくるんだね。
動+てるんだ	よ	2	なってきたんだよ。
動+てるんだ	よ	1	生まれ変わったんだよ。
動+てるんだ	よ	1	決まってるんだよ。
動+てるんだ	もの	1	かかっているんだもの。
動+た		1	おっちやっただよ。
動+たんだ	よ	1	なっちゃんだよ。
動+ちやったんだ	な	1	生まれ変わったんだな。
動+ちやったんだ	よ	1	死んじやったんだよ。
かさ態体言文		6	
体	か	1	悪魔か。
体	かな	1	おばけかな。
体	さ	2	王子さ。
動+ん	か	1	なるんか。
動+ていたの	か	1	ばけていたのかつ。
体言文	体	9	
		2	すてき。
	動+こと	1	使わないこと。
	動+もの	1	きたもの。
	動+ないの	1	近づかないの？
	動+たの	2	きたの？
	動+てるの	2	だまってるの？
ですます態		67	
ございます		1	ございます。
動+ます	よ	5	いたします。
動+ます	か	5	ちがいますよ。
動+てくださいます	ね	1	許してくださいませか。
動+てくださいます	ね	2	許してくださいませね。
動+てます		2	知ってます。
動+ません		2	なりません。
動+ません	か	1	知りませんか。
動+ません	よ	1	ルンペンじゃありませんよ。
動+たんでしよう	ね	1	行ったんでしようね。
形+でしよう	ね	1	殺すんじゃないでしようね。
動+ましよう	か	1	そってあげましようか。
動+なかつたでしよう	か	1	見かけなかつたでしようか。
動+たでしよう		1	聞いたでしよう。
形+んでしよう		1	着かえりやいんでしよう。
体+なんでしよう		1	ことなんでしよう。
動+ました	ね	1	お会いできましたね。
動+てくださいました	ね	1	きてくださいましたね。
体+でした		1	くらしました。
形+たです	ね	1	よかつたですね。
体+です		10	王女です。
体+です	か	2	なんですか。
体+です	よ	5	女の子ですよ。
体+です	もの	1	かわいそうですよもの。
体+です	ね	1	きついですね。
動+たいんです		1	お会いしたいんです。
動+ないんです	か	1	眠ってくださらないんですか。
動+ないんです		2	寝まなくちやらないんですか。
動+んです		2	あるんです。
動+んです	か	1	かいてあるんですか。
動+んです	つて	1	生きていらっしゃるのですって。
動+たんです		2	けずりすぎたんです。
動+たんです	か	1	したんですか。
動+たんです	ね	1	やぶつたんですね。
動+たんです	よ	1	持ったのですよ。
動+たんです	よ	1	つくったんですよ。
動+なかつたのです		1	眠ってくださなかったのです。
動+ちやったんです	よ	1	いっちゃんですよう。
体+なんです	よ	1	ほんとなんですよ。

文の性性——「ボク」「おれ」と呼ぶ少女たちの言葉——

フランチ

用言文		214
	形	17 うるさい。
	形	1 いいかい。
	形	1 うまいぞ。
	形	1 うるさいな。
	形	2 いいね。
	形	2 ないよ。
	動＋たい	3 会いたいの。
	動＋ない	1 したくない。
	動＋ない	4 わからない。
	動＋ない	4 知らないな。
	動＋ない	1 知らないな。
	動＋ない	1 忘れないぞ。
	動＋ない	1 すまないうね。
	動＋ない	1 忘れないよ。
	形	4 娘ではないかい。
	動	10 きめる。
	動	3 くるか。
	動	1 ねかせてもらうかな。
	動	6 似合うぞ。
	動	1 愛するとも。
	動	1 行けるねえ。
	動	5 あるよ。
動＋てしま	う	1 しかけてしまう。
動＋ている	う	2 似ている。
動＋ている	ぞ	1 知っているぞ。
動＋ている	よ	1 だいているよ。
	動	2 行く。
動＋てる	う	3 集てる。
動＋てる	か	1 おおべるのかい。
動＋てる	か	1 してるね。
動＋てる	さ	1 知ってるさ。
動＋てる	よ	1 知ってるさ。
動＋られる	か	1 ばけられるかい。
動＋させる	ぞ	1 こさせるぞ。
	動	1 つれてゆけぬつ。
動＋ぬ	よ	1 おらぬよ。
動＋ん	う	2 おわらんつ。
動＋う	う	3 行こう。
動＋う	か	3 いこうか。
動＋よう	う	4 でかけよう。
動＋よう	よ	1 かぶせてみようよ。
動＋れよう	う	1 殺されよう。
動＋た	う	1 驚いた。
体＋されたらう	う	1 監禁されたらう。
体＋だらう	う	1 かせだらう。
体＋だったの	う	1 きみだったのだらう。
動＋たらう	う	1 いるだらう。
動＋たらう	う	1 きているだらう。
動＋たらう	う	1 したんだ。
動＋なかった	う	1 見なかったか。
動＋た	か	11 かった。
動＋た	か	1 出たかつ。
動＋た	か	1 さめたかい。
動＋た	ぞ	1 ついたぞ。
動＋た	な	5 だましたなつ。
動＋た	ね	3 いったね。
動＋た	よ	3 わかったよ。
動＋た	ぞ	1 わかってくれたぞ。
動＋ていた	う	1 さがしていた。
動＋たかった	う	1 おどっていたかった。
体＋だった	う	1 男だった。
動＋やった	う	1 しちやつ。
動＋なかった	う	2 知らなかった。
体＋だ		22 夜だ。
体＋だ	ぞ	2 王子だぞ。
体＋だ	な	7 娘だな。
体＋だ	ね	1 どうだね。
体＋だ	よ	5 わくだよ。
形＋そうだ	う	1 かわいそうだ。
体＋のようだ	う	1 娘のようだ。
動＋ているだけだ	う	1 はいっているだけだ。
動＋ただけだ	う	1 かっただけだ。
体＋だ	う	3 ひきとめるつもりだ。
動＋だ	ね	2 うちあひのだ。
動＋ているのだ	う	1 逃げるのだね。
動＋ているのだ	よ	1 おおまいているのだつ。
動＋たのだ	う	1 すぐりたのだよ。
動＋たのだ	う	1 行ったのだ。
動＋たのだ	な	2 そのおかたのだな。

動+たのだ	よ	1	流れ着いたのだよ。
動+ていたのだ		1	まだっていたのだ。
動+なかつたのだ		1	いなかつたのだ。
動+られなかつたのだ		1	忘れられなかつたのだ。
体+なのだ		2	いつなのだ。
体+のだ		1	サファイヤのだ。
形+んだ		1	見せてほしいんだ。
動+たんだ		1	したんだ。
動+んだ		4	するんだ。
動+んだ	よ	1	聞くんだよ。
動+たんだ		2	したんだ。
体+してたんだ	ね	1	変装してたんだね。
かさ態体言文		23	
体	か	6	白鳥か。
体	かね	1	そうかねえ。
体	か	1	気味さ。
動+ほう	か	1	しずはほうかつ。
動+の	か	1	ならべたのじゃないのか。
動+ているの	か	1	何しているのか。
動+たの	か	1	いたのか。
動+たのか	かね	1	忘れたのかね。
動+っていたの	か	1	まだがっていたのか。
体+だったの	か	2	魔女だったのか。
体+なのか	か	3	女なのか。
動+の	か	4	さくのか。
体言文		05	
体		2	おまえの娘？
動+の		1	わかるの？
動+っていたの		1	かくしていたの？
動+もの		1	かわいすぎるもの。
ですます態		37	
ございます		1	ルビでございます。
動+ます		3	います。
動+ます	よ	1	わかりますよ。
動+せます		1	知られますよ。
動+てます		1	こんです。
動+ません		5	わかりません。
動+ません	か	1	あかししてくれませんか。
動+ません	よ	1	お返ししませんよ。
動+ましよう		1	会いますよう。
動+ました		2	お待ちしていました。
動+されたました		1	追っつらってくださったました。
動+でました	か	2	娘さんでしたか。
動+たいです	ね	1	お聞きしたいですすね。
動+たいです	ね	1	よかったですね。
体+です		4	王子です。
体+です	か	4	そうですか。
体+です	かね	1	どうですかねえ。
体+です	かね	1	王子です。
体+です	よ	1	私です。
形+そうです	ね	1	うれそうですすね。
動+しているの	か	1	泣いているのですか。
動+なんです		1	約束なんです。
体+なんです		1	大好きなんです。